

DVチェック ☒

あなたはパートナーとの関係で、
次のようなことはありませんか？
あてはまる項目があったら、それはDVかもしれません。



- ☐ 「バカだ。」「何もできない。」など人格を傷つける暴言を吐く。
- ☐ うまいかないことがあるとなんでも相手のせいにする。
- ☐ 「誰に食べさせてもらっているんだ。」と怒鳴る。
- ☐ 怒るとモノを投げつけたり、壁を叩いたりする。
- ☐ 何を言っても無視して口をきかない。
- ☐ 殴ったり、蹴ったりする。
- ☐ 首をしめる。
- ☐ 髪を持って引きずりまわす。
- ☐ 望まない性行為を無理やり強制する。
- ☐ 避妊に協力しない。
- ☐ 実家や友達との付き合いを制限する。
- ☐ 携帯をチェックする。
- ☐ 生活費を渡さない。
- ☐ 子どもの前でばかにしたり、殴ったりする。
- ☐ 自殺すると脅す。

いつものことと思っている日常生活の一コマも、ひょっとしたらあなたを支配しようとする暴力かもしれません。DVかな？と思ったら、どうか一人で悩まないで、信頼できる人や機関に相談しましょう。

秘密は必ず守られます！

ひとりで悩まず、
まずは相談から。

緊急時には
迷わず
110番を！

加東市配偶者暴力相談支援センター

TEL.0795-43-0411

受付時間：8:30～17:00（月～金曜日）

加東市 高齢介護課

TEL.0795-43-0431

受付時間：8:30～17:15（月～金曜日）

加東市 人権教育課（人権相談）

TEL.0795-43-0544

受付時間：8:30～17:15（月～金曜日）

兵庫県立男女共同参画センター

TEL.078-360-8551

受付時間：9:30～12:00／13:00～16:30（月～土曜日）

NPO法人 ウィメンズネット・こうべ

TEL.078-731-0324

受付時間：10:00～16:00（月・水・金曜日）※火・木曜日は休み

兵庫県警察ストーカー・DV相談電話

TEL.078-371-7830

受付時間：24時間対応

加東警察署 刑事生活安全課

TEL.0795-42-0110

受付時間：24時間対応

このパンフレットに関するお問い合わせは
加東市配偶者暴力相談支援センター
TEL.0795-43-0411

STOP!

ドメスティック・バイオレンス



パートナーからの暴力に、
ひとりで悩んでいませんか？



加東市配偶者暴力相談支援センター



DVってなに？

DV＝ドメスティック・バイオレンスとは、配偶者や恋人（婚約者・同棲相手・恋人・元恋人）など、親密な関係にある相手からふるわれる暴力のことです。身体的暴力だけがDVではありません。さまざまな暴力で相手を自分の思いのままに支配しようとしします。

身体的暴力

殴る、蹴る、首をしめる、髪の毛をひっぱる など

精神的暴力

大声で怒鳴る、脅す、何を言っても無視する など

社会的暴力

メール・電話をチェックする、実家や友達との付き合いを制限する など（社会から孤立させること）

経済的暴力

生活費を制限したり渡さない、使い道を細かくチェックする、借金を繰り返す など

性的暴力

望まない性行為を強要する、ポルノなどを無理やり見せる、避妊に協力しない など

子どもを利用した暴力

子どもに悪口を吹き込む、子どもを盾にして脅す など

デート
DV



恋人同士の間でおこる暴力を特に「デートDV」と言い、10代・20代で被害を受けることもあります。「愛しているから」等の言葉が問題を見えにくくしています。

こころの暴力 モラルハラスメント

身体的な暴力はないが、怒鳴ったり、無視、皮肉、悪口や嫌がらせなどを、繰り返し行い相手を精神的に追いつめていくことを「モラルハラスメント」といいます。その攻撃の一つ一つは些細なことと感ずることが多くて攻撃に気付かないこともあります。

—— こんなことを感じていませんか？ ——



傷もアザも見えないけれど、
なんだか息苦しくてつらい…

これも立派な
DVです。

DVは 子どもへの影響も…

直接子どもが暴力を受けるのはもちろん、暴力を身近で見聞きすることも、子どもに大きなストレスを与えます。

POINT!

DVを見聞きさせることは児童虐待であると法律で明記されています。

（改正児童虐待防止法 平成16年10月施行）

DVについて、
自分を責める子どもも少なくありません。

自分のせいで
DVが
起きている…



自分がいるから
母親が
逃げられない…

暴力の環境にさらされると、感情表現や問題解決の手段として暴力を用いることを習得してしまうこともあります。

しかし、暴力を受けた子どもの全員が大人になって暴力的になるとは限りません。人は傷を受けても回復する力があります。

できる限り暴力の傷を最小限にとどめ、一刻も早くあなたと子どもが安心して安全な環境で暮らせることが大切です。

家庭児童相談室

お子さまの健やかな成長のために、あらゆる問題について相談に応じます。

ひとりで悩まず、まずご相談ください。
一緒に考えましょう。TEL.0795-43-0441

我慢せずに、信頼できる相手や機関に相談しましょう。